2027年度　看護学部に入学される方と保護者の方へ
～感染症予防に関するお願い～

広島国際大学看護学部
学部長　松本　睦子

この度は合格おめでとうございます。教職員一同、心よりお祝い申し上げます。大学生活について、期待と不安の気持ちを抱いている方も多いかと思います。

さて、看護学部では学内での講義・演習だけでなく医療施設での実習も行われ、最初に「基礎看護学実習Ⅰ」が1年次の2月から開始されます。そのための準備として、皆さんと患者さんを守るため、感染予防のための対応をお願いしたいと思います。

「麻疹」「風疹」「水痘・帯状疱疹」「流行性耳下腺炎」に関して

１．医療機関で「麻疹（はしか）」「風疹（三日ばしか）」「水痘・帯状疱疹（みずぼうそう）」「流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)」の免疫があるかどうかの血液検査を受けてください。血液検査の方法は、感度が高い方法「酵素抗体法（EIA法）」を必ず指定してください（指定以外の検査方法で提出された場合は、指定の方法で再検査となります。ご注意ください）。

２．表1は、過去「2回」の予防接種を受けていない方の血液検査の結果に対するワクチン接種の実施基準です。母子健康手帳で予防接種状況をご確認いただき、過去2回の予防接種を受けていない場合は、ご相談ください。過去2回の予防接種を受けている方は、血液検査の結果が「免疫がない、または、免疫が十分でない」であった場合に1回ワクチン接種をしてください。

これらは生ワクチンですので、それぞれの接種の間は4週間空ける必要があります。過去に感染したことがある場合や予防接種したことがある場合でも、時間の経過に伴い免疫が低下し、再度ワクチン接種が必要となる場合があります。

（ 表１ ）

	検査結果（抗体価）と判定		
感染症名と検査法	**2回のワクチン接種が必要**（免疫がない）	**1回のワクチン接種が必要**（免疫が十分でない）	**今すぐのワクチン接種は不要**（免疫が十分にある）
麻疹（IgG/EIA法）	2.0未満	2.0～16.0未満	16.0以上
風疹（IgG/EIA法）	2.0未満	2.0～8.0未満	8.0以上
水痘・帯状疱疹（IgG/EIA法）	2.0未満	2.0～4.0未満	4.0以上
流行性耳下腺炎（IgG/EIA法）	2.0未満	2.0～4.0未満	4.0以上

「B 型肝炎」に関して

１．医療機関で、HBs 抗原および HBs 抗体（ともに CLIA 法または CLEIA 法）の血液検査を受けてください。血液検査の方法は、感度が高い方法「CLIA 法または CLEIA 法)」を必ず指定してください（指定以外の検査方法で提出された場合は、指定の方法で再検査となります。ご注意ください)。

２．血液検査の結果から、

・HBs 抗原陰性かつ HBs 抗体陰性の場合：B 型肝炎ウイルスに過去に感染したことがなく、抗体ができていない状態です。

⇒B 型肝炎ワクチンの接種（原則 3 回）が必要です。また、3 回目の B 型肝炎ワクチンの接種が終わって 1～2 カ月後に、HBs 抗体（CLIA 法または CLEIA 法）を再検査して、抗体ができたかどうかを確認してください。

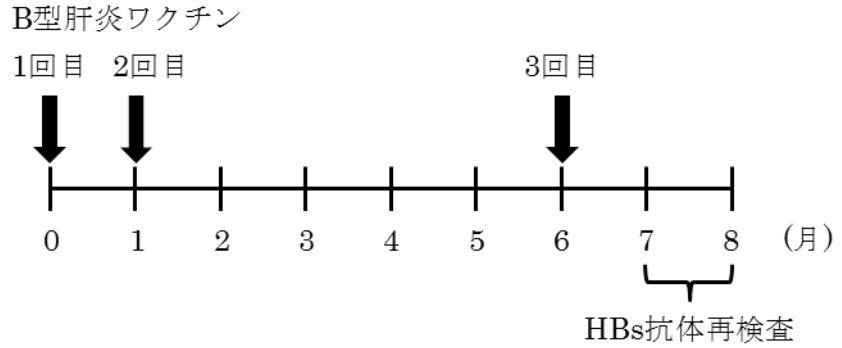
・HBs 抗原陽性かつ HBs 抗体陰性の場合：B 型肝炎ウイルスが体内に存在する状態です。

⇒医療機関での精密検査が必要です。

・HBs 抗原陰性かつ HBs 抗体陽性の場合：B 型肝炎ウイルスに過去に感染したか、ワクチンの接種により抗体ができている状態です。

⇒ワクチン接種は不要です。

参考）B 型肝炎ワクチンを接種する場合のスケジュール



＊1 回のワクチン接種から HBs 抗体の再検査まで 7～8 カ月の期間が必要です。感染症関連記録Ⅱが期日までに提出できるよう計画的な実施をお願いします。

「C 型肝炎」に関して

１．医療機関で、HCV 抗体（第 3 世代抗体）（CLEIA 法）の血液検査を受けてください。

２．血液検査の結果から、

・HCV 抗体陰性の場合：C 型肝炎ウイルスに過去に感染したことがない状態です。

⇒現在のところ C 型肝炎ウイルスに対するワクチンはありませんので、対応は不要です。

・HCV 抗体陽性の場合：C 型肝炎ウイルスが体内に存在する可能性が高い状態です。

⇒医療機関での精密検査が必要です。

「感染症関連記録」の提出のお願い

同封の**「感染症関連記録Ⅰ（麻疹、風疹、水痘・帯状疱疹、流行性耳下腺炎)」**は、必要なワクチン接種をすべて済ませて**2027年10月8日（金）までに**提出をお願いします。

「感染症関連記録Ⅱ（B型肝炎、C型肝炎)」は、ワクチン接種や接種後のHBs抗体の再検査が間に合わない場合には、**上記期日までに途中までの結果のコピーを一旦提出し、最終結果は2028年4月14日（金）までに**提出してください。

＊**感染症関連記録の提出期限日**

2027年10月8日（金）：感染症関連記録Ⅰ（原本）・感染症関連記録Ⅱ（コピー）提出

2028年4月14日（金）：感染症関連記録Ⅱ（原本）提出

＊**感染症関連記録の提出・連絡先**

呉キャンパス1号館3階　学部事務室　TEL 0823-73-8901

保護者の方には金銭的ご負担をおかけしますが、どうかご理解とご協力をお願いいたします。なお、本学部のワクチン接種については日本環境感染学会発行「医療関係者のためのワクチンガイドライン第5版」に準拠して行っています。

参照：日本環境感染学会（2026）．医療関係者のためのワクチンガイドライン，2026年6月9日，https://www.kankyokansen.org/wp-content/uploads/vaccineguideline_05.pdf

ご注意

＊**「提出がない場合」、「十分なワクチン接種がなされていない場合」は、医療機関での実習の受け入れが認められず単位取得ができないため、進級・卒業できなくなります。**

＊感染症関連記録ⅠとⅡを両面印刷せず、片面印刷をしてください。

＊アレルギー体質や自己免疫疾患、ステロイド（副腎皮質ホルモン）内服中などの理由により、ワクチン接種ができない場合には、必ず医師に「感染症関連記録」のうちの「接種できなかった理由（　　）」にその旨を記載してもらってください。

＊複数のワクチン接種が必要となった場合（新型コロナワクチン接種も含む）は所定の間隔を空けなければならないことや、B型肝炎ワクチンは3回（初回・1カ月後・6カ月後）の接種が必要となることから、**できるだけ早く（遅くとも4月の授業が始まるまでに）、「感染症関連記録Ⅰ、Ⅱ」と「医療機関各位（p.4)」を持って、**医療機関を受診されることを推奨します。

＊「感染症関連記録」の内容は、個人情報として看護学部が厳重に管理し、原則として第三者に開示しません。ただし、1）感染において緊急を要する場合（学生や患者さん等への感染の可能性がある場合など)、2）実習受け入れに際し実習先の医療施設から提出を求められた場合などには情報を開示する場合があることをご承知おきください。

＊例年、学生が検査・ワクチン接種や提出などについて理解していないケースが見受けられます。保護者の方は、入学される方とともに注意事項を熟読し、「感染症関連記録Ⅰ・Ⅱ」の提出についてご確認いただき、期日内提出の徹底にご協力ください。「感染症関連記録Ⅰ・Ⅱ」の用紙と、この用紙は、入学される方が保管してください。

医療機関　各位

本学看護学部では、入学者自身の感染予防、および入学後に実施する実習で利用する実習施設等での感染拡大防止の観点から、以下の検査とその検査結果が基準値に満たない場合は、ワクチン接種を実施しています。以下の検査やワクチン接種をお願いします。

【抗体価検査およびワクチン接種】

１．初回の検査項目（7 項目）

①麻疹、風疹、水痘・帯状疱疹、流行性耳下腺炎の IgG 抗体（EIA 法）
②B 型肝炎（HBs 抗原、HBs 抗体：CLIA 法もしくは CLEIA 法）
③C 型肝炎（HCV 抗体：CLEIA 法）

２．ワクチン接種

①麻疹、風疹、水痘・帯状疱疹、流行性耳下腺炎
「免疫がない／免疫が十分でない」：ワクチン接種 1 回
②HBs 抗原陰性かつ HBs 抗体陰性の場合：ワクチン接種 3 回
＊ワクチン接種できない場合は、理由を（　）に記載する。

３．B 型肝炎ワクチン接種 3 回の 1～2 カ月後に「HBs 抗体価」の再検査

【記載に関する留意点】

「感染症関連記録Ⅰ・Ⅱ」は、以下に留意して記載をお願いします。

・「西暦」で記載する。
・2 か所目の医療機関では、2 つ目（下の欄）に「医療機関・医師名」「最終受診日」等を記載する。
・誤記入は、二重線と訂正印が必要です。

＊「感染症関連記録Ⅰ・Ⅱ」は臨地実習の際に必要となりますので、不備のないようにお願いします。なお、本学部のワクチン接種については日本環境感染学会発行「医療関係者のためのワクチンガイドライン第 5 版」に準拠して行っています。

参照：日本環境感染学会（2026）. 医療関係者のためのワクチンガイドライン, 2026 年 6 月 9 日, https://www.kankyokansen.org/wp-content/uploads/vaccine-guideline_05.pdf

広島国際大学看護学部看護学科